

ウェルビーイングと成長戦略① 戦略でのウェルビーイングの位置付け

「ウェルビーイング」は、成長戦略のキーワード!

富山県成長戦略（2022年2月策定）では、ウェルビーイングを戦略の「中心」や「全体に通じる考え方」と位置づけています。



- ウェルビーイングを向上し、
 - ・人材の育成、集積（出入り）の活性化
 - ・新しい産業、価値の創出
- につなげ、経済成長を実現する。

ウェルビーイングをもっと実感できる場所になる。そういう富山県に、魅力を感じて多様な人材が集まり、新しいこと、面白いことが生まれる。経済だけではなく、人も地域も活気がでて、富山県の成長につながるってことだよね!

そのビジョンは、「幸せ人口1000万～ウェルビーイング先進地域、富山～」。

6つの施策（右図）を柱に、富山県の新たな成長を目指します。

成長戦略の中では、ウェルビーイングを「収入や健康といった外形的な価値だけでなく、キャリアなど社会的な立場、周囲の人間関係や地域社会とのつながりなども含めて、自分らしくいきいきと生きられること、主観的な幸福度を重視した「真の幸せ」と説明しています。



ウェルビーイング先進地域
幸せ人口1000万

富山県成長戦略

真の幸せ（ウェルビーイング）戦略

多様な人材がいきいきと暮らせる環境づくり

まちづくり戦略 (官民連携/PPP・PFI)

官民連携による富山らしい、個性的で居心地良いまちづくり

県庁オープン化戦略

県民参加やデジタル化による行政サービス向上、地域課題解決

ウェルビーイング↑



ブランディング戦略 (広報/観光/移住)

一人ひとりが本県の魅力を発信、富山に関わる人とのつながり構築

スタートアップ支援戦略

意欲ある人材の新たなビジネスへのチャレンジを支援

新産業戦略

外からの消費を呼び込む自立した経済圏構築、DX、生産性向上、人材育成

戦略の中に6つの戦略って…少しややこしいけど、これらすべてが、「ウェルビーイング」でつながっているんだね。富山県の新たな成長を目指す“六本の矢”として、力を合わせていきたいね。



成長戦略は、総合計画を”補完“する位置づけになっています。総合計画ともつながっているんだね。

ウェルビーイングと成長戦略②

「幸せ人口1000万」とは何だ？

富山県民＋関係人口が、幸せ人口。ウェルビーイング向上を通じて、富山県の仲間の輪を広げていきましょう。

いつまでも「県内人口100万人」という考え方に縛られてはもったいない。そうではなく、幸せという大きな傘のもと「関係人口1000万人」を目指しましょう。
富山で暮らす人、仕事する人、よく訪れる人、生まれ育った人など愛着を持って関わるすべての人が、富山の仲間です。
【成長戦略ビジョンより】

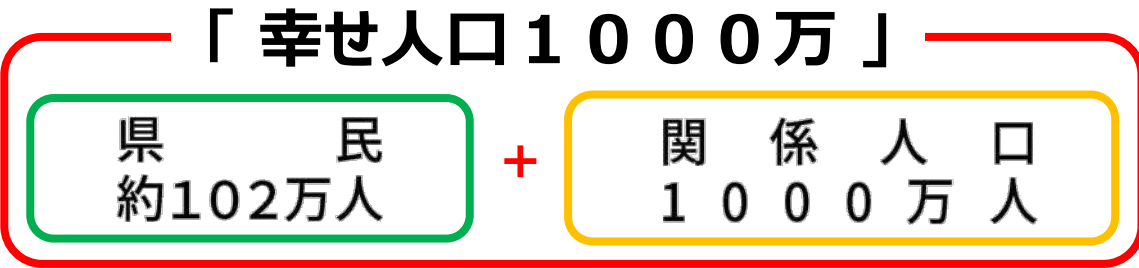


成長戦略のビジョンに掲げる「幸せ人口1000万」。

富山県で暮らす皆さんのウェルビーイング向上はもちろん、ウェルビーイングを感じられる本県に魅力を感じて、より多くの多様な人々が、つながる、集まる、交流や出入りが活性化すること（関係人口の増）を目指しています。

「関係人口」には、様々な定義があり、例えば、総務省のウェブサイトでは、「移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々」とされています。

本県では、こうした様々な考え方を参考にしつつ、成長戦略の推進に向け、独自に定義し、関係人口の拡大、関係性の深化に取り組むこととしています。



独自の関係人口の定義は、

- ・県外に在住し、
- ・地域貢献、ビジネス、情報発信などで本県と関わる方のうち、
- ・強い関係性を持つ方・・・関わりや行動に継続性がある方や、多くの選択肢がある中で、あえて富山県を選んでいる方と整理しているようですね。



どうやって数えるの？



統計などで調査したり、これから全国を対象にアンケート調査を行い推計していくみたい。

僕たちが住む富山県を好きになってくれる人がもっと増えてほしいね!



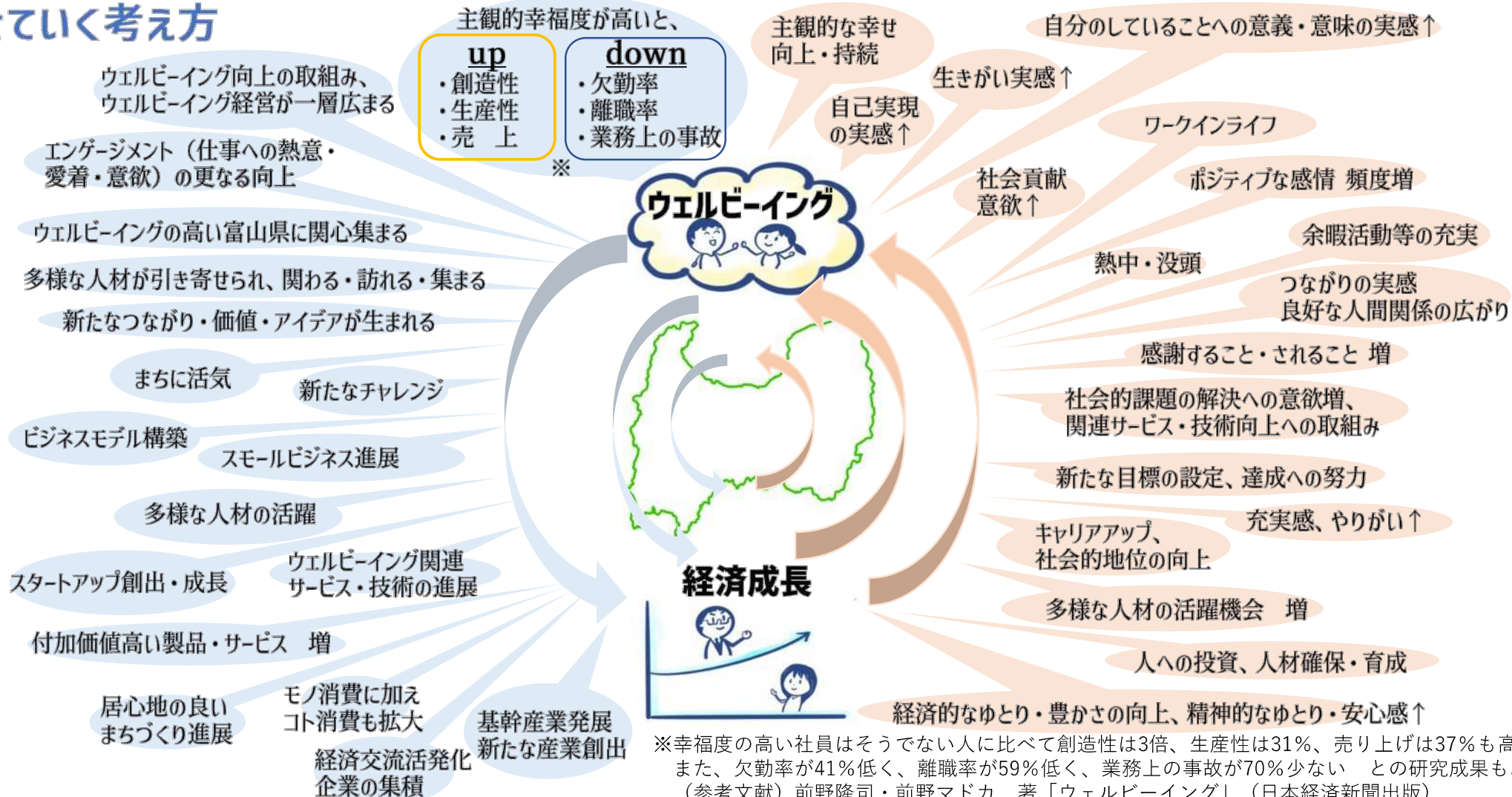
そうだね。富山県の幸せを、多くの人に「おすそわけ」して、仲間を増やしていこう!



ウェルビーイングと成長戦略③ ウェルビーイング向上が経済成長の目的でもあり手段でもある?

ウェルビーイング向上と経済成長の相乗効果を生み出し、好循環させていく考え方

ウェルビーイングの向上により、一人ひとりの意欲や活力、県内外の多様な人材の交流・集積、新たな価値・産業などを生み出し、経済成長につなげる



成長戦略には、「「真の幸せ」（ウェルビーイング）を目指すことが経済成長の目的であり、手段でもある時代となり、新しい産業政策、新しい人材政策が必要となっています」とあります。

「目的でもあり手段でもある」って、ちょっとややこしいけど…。ウェルビーイングと経済成長の好循環を生み出していきたいね。



ウェルビーイング⇨経済成長の目的

経済の活性化・成長による、生活の豊かさ向上、積極的な人的資本投資、つながりや生きがいの充実、社会課題への対応の進展、自己実現機会の増などを、ウェルビーイング向上につなげる

※幸福度の高い社員はそうでない人に比べて創造性は3倍、生産性は31%、売り上げは37%も高い傾向
また、欠勤率が41%低く、離職率が59%低く、業務上の事故が70%少ない との研究成果もある
(参考文献) 前野隆司・前野マドカ 著「ウェルビーイング」(日本経済新聞出版)

ウェルビーイングと成長戦略④ 若い世代、特に女性のウェルビーイング向上がカギ?

若い世代、女性がウェルビーイングを向上できる富山県に!

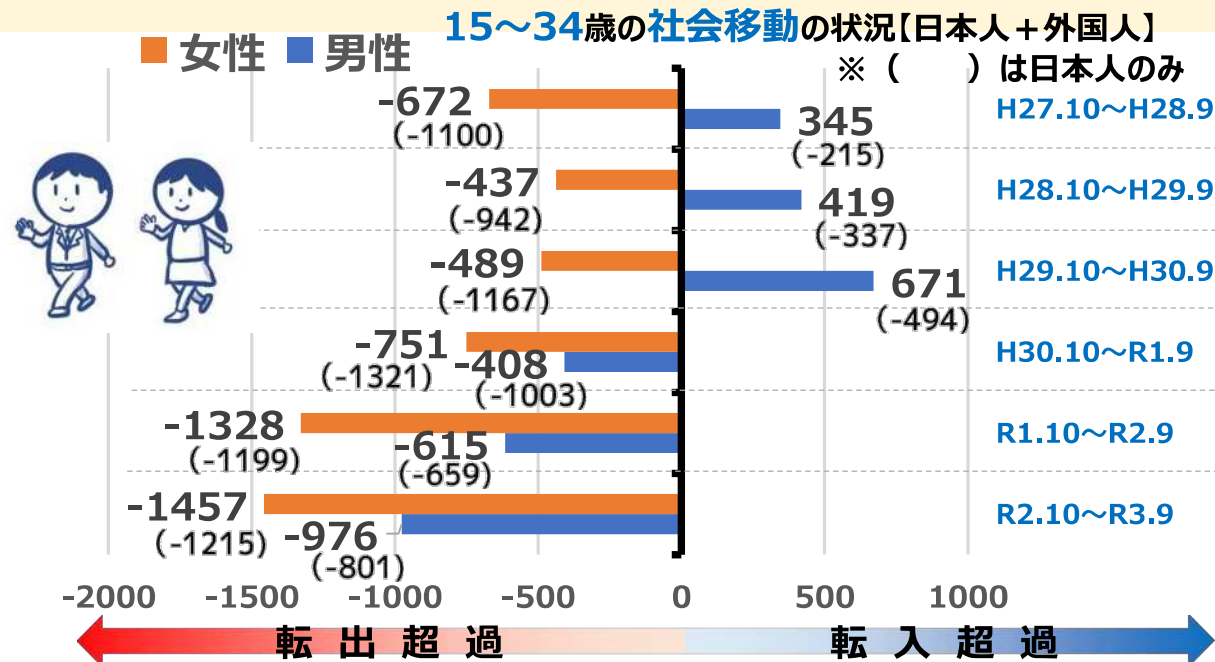
本県は、若い世代の転出超過（社会減）、特に女性がより多く県外に転出している状況が続いています。（右図）

このような状況は、経済の縮小や、地域の活力・魅力の減退、そして更なる転出超過という悪循環を引き起こします。また、女性の社会減が著しいことによる若い世代の男女構成のアンバランスが、婚姻数の減、さらに出生数の減につながっている、という指摘もあります。

こうしたなかで、成長戦略では、単に「流出防止」を目的とするのではなく、人材の出入りがあることを前提に、多様な人材がいきいきと自分らしく暮らすことができる環境づくりに取り組み、ウェルビーイングの向上を目指すことで、人材の交流・集積（「出入りの活性化」）に繋げるとしています。

そして、戦略の柱の一つ、「真の幸せ（ウェルビーイング）戦略」では、全ての県民のウェルビーイング向上を目指すなかで、特に若い女性のウェルビーイング向上に着目しています。

大きな社会減という現実がある若い世代、女性のウェルビーイングに向き合うことは、県全体のウェルビーイング向上、また、本県としてのこれからの活路を開く、1つのカギとなると考えられます。



(出典) 富山県「人口移動調査」

日本人だけで見ると、2016年～2019年は男性も転出超過になる。女性の社会減はやはり大きく、若い世代は全体的に転出が多いね。

若い世代の社会減、東京一極集中は、本県だけでなく地方全体の長年にわたる大きな課題だよ。

進学や就職で多様な選択肢があって、キャリアアップ、自己実現につながりやすい環境、華やかな街の雰囲気や高い寛容性など、東京圏に魅力を感じる人は多いかもしれないけど・・・
その中で、これからの富山県はどうしていけばいいのかなあ。

構造的な課題もあるから、なかなか難しいけど、成長戦略で掲げるように、一人ひとりのウェルビーイングを軸に考え、県内に住む人が幸せであることはもちろん、県外に出た人にとっても、帰ってきたい、ずっと好きな富山県であり続け、また、いつでも、誰でも、温かく迎えることができる、皆の「居場所」や「舞台」のある富山県でいたいね。

そのためにも、若者や女性などの多様な視点・思いにもっと向き合うことは大事だね。課題は多いけど、活かせる余地が大きいから、逆に大きな伸びしろとも言える。どの分野にも関わるし、皆で考えていきたいね。